

国指定特別史跡

国指定重要文化財

水戸藩校

# 弘道館



JAPAN HERITAGE

日本遺産

近世日本の教育遺産群

・学ぶ心・礼節の本源

（平成27年4月認定）



KODOKAN

## ●● 弘道館について

弘道館は、江戸時代の1841年(天保12年)に水戸藩第9代藩主徳川齊昭が建てた水戸藩の学校です。藩の学校なので藩校といいました。当時の日本にはたくさんの藩があり、ほとんどの藩が藩校を建てましたが、弘道館はその中で最大の藩校でした。

## ●● 水戸藩第9代藩主徳川齊昭(1800-1860)

徳川齊昭は、1800年(寛政12年)に第7代藩主治紀の子(3番目の男子)として江戸藩邸で生まれました。30歳で藩主になり、藩政(藩の政治)の改革に取り組み、弘道館や偕楽園をつくりました。また、幕府の政治にも関わり、外国から日本を守るために努力しました。



徳川齊昭(烈公)

齊昭は、1860年(万延元年)に水戸城で亡くなりました。61歳でした。おくりな(死後に贈られる尊敬をあらわす名前)は、烈公です。

## ●● 弘道館を作った目的

江戸時代の終わりころ、外国(イギリス・アメリカなど)が日本に対して開国(貿易)を強く要求してきました。中国では外国と戦争がおこっていたので、日本は危機感をもち、外国の船をおいはらおうとしました。



水戸藩の海岸にも、この絵のような外国船が姿をあらわすようになりました。そこで齊昭は、日本の独立を守り、国や藩を発展させるためには、すぐれた人を育てることが大切だと考えて、藩の学校である弘道館を建設したのです。

水戸藩の海岸にあらわれたアメリカ船の絵

## ●● 弘道館の教育について

● **入学できる人**…水戸藩の藩士とその子供（男子）

● **入学する年齢**…15歳

\* 15歳までは藩が指定した塾で学びました。

### ● 入学試験

塾で基礎を学んだ子供たちが15歳になると、塾の先生が弘道館へ入学の申し込みをします。学問は入学試験がありましたが、武術は無試験でした。



塾で学んでいた子供たち（部分）



### ● 教育の内容

弘道館は、学問と武術の両方を大切に、学問を学ぶ文館と武術を練習する武館が建てられていました。科目は次のようになっています。



**学問**…儒学（中国の政治・道徳の学問）、礼儀、歴史、天文（太陽や

月、星の学問）、数学、地図、和歌、音楽など

**武術**…剣術、槍、兵法、鉄砲や大砲の射撃、馬術、水泳など

医学を教える医学館もあり、薬草から薬をつくったり、牛を飼って牛乳からバターをつくるなど、いろいろな研究をしていました。また、伝染病を防ぐために、藩内の人びとに無料で種痘（予防接種）をしました。



● **試験**…毎月2回の試験・年1回秋の大試験

\* 大試験には藩主が弘道館に来て試験の様子をご覧になりました。

● **卒業**…卒業はなし（40歳以上からの登校は自由）

# 弘道館全図 (今と昔)



- はんこうとうじ めんせき ヘクター  
藩校当時の面積 (10.5ha)
- 弘道館公園の面積 (3.2ha)
- げんざい しせつ  
現在ある施設

- じゅうようぶん が ざい  
重要文化財
- はんこうとうじ たてもの せきひ  
藩校当時からある建物・石碑
- ふくげん  
藩校当時にあり復元などされた建物
- げんざい  
藩校当時にあり現在はない建物

# ●● 弘道館(公園)を歩いてみよう!

\* 3ページの弘道館全図の番号にあわせて見てね

## ① 正門 (重要文化財)

藩主の来館や正式な行事の時にだけ開けられました。



正門

## ② 正庁・至善堂 (重要文化財)

正庁正席の間では、藩主の前で試験や儀式がおこなわれました。至善堂は、藩主が休む所で、藩主の諸公子(子供)の勉強場所でもありました。斉昭の子で最後の将軍である徳川慶喜も子供のころにここで学びました。



正庁・至善堂



八卦堂

## ③ 八卦堂 (弘道館記碑)

八角形をした建物で、中には弘道館記碑という重要な石碑がはっています。

## ④ 鹿島神社

鹿島神宮から分祀した武藝榎命がまつられています。弘道館では、神道と儒教をとともに敬いました。

鹿島神社



孔子廟

## ⑤ 孔子廟

学問の祖である孔子がまつられています。藩校には必ず孔子廟が建てられていました。



## ⑥ 学生警鐘

学生に時を知らせるための鐘です。鐘の実物は弘道館の展示室で見られます。

学生警鐘



## ⑦ 要石歌碑

斉昭がよみ、また書いた歌です。日本人としての進むべき道がしめされています。

要石歌碑



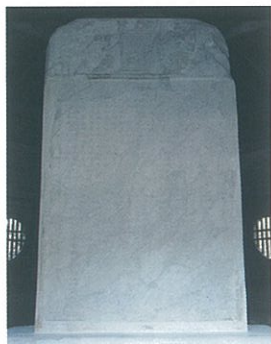
## ⑧ 種梅記碑

斉昭が弘道館や偕楽園にたくさんの梅の木を植えた理由が書かれています。

種梅記碑



## ●● 弘道館記碑について



八卦堂の中にある弘道館記碑

弘道館記碑には、弘道館を建てた目的や教育方針をしめした「弘道館記」が彫られています。「弘道館記」はとても重要な文章ですので、徳川齊昭は「弘道館記」を石碑にして弘道館の敷地のまん中に建てました。石材の寒水石（大理石）は雨や風に弱いので、八卦堂というお堂をつくり石碑を守りました。

### 《弘道館記碑の大きさ》

高さ：318cm・幅：191cm・厚さ：55cm

「弘道館記」のはじめには、「弘道とは何ぞ、人よく道を弘むりなり」と書いてあります。意味は、「人の生きる道というものは、自然にあるものではなく、人が努力してひろげていくものです」となります。このはじめの言葉から、弘道館という学校の名前がつけられました。

## ●● 弘道館と偕楽園

偕楽園は、弘道館が建てられた翌年の1842年（天保13年）に開園しました。偕楽園は、弘道館とともに徳川齊昭が作りしました。

### 弘道館



学問を学んだり武術の練習をするところ

### 偕楽園



きれいな景色を見たり体を動かして、弘道館で学んだり練習した疲れをとって休むところ

両方とも  
大切である

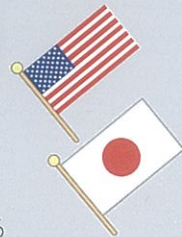


徳川齊昭

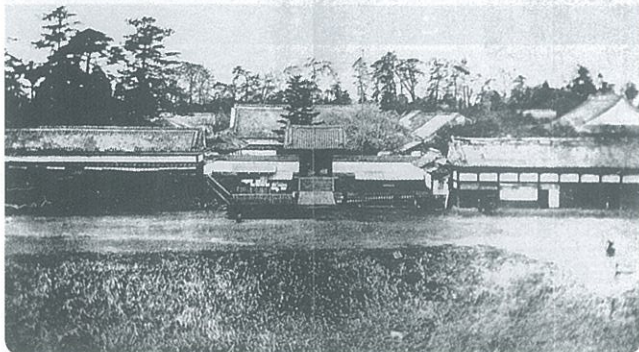
# ●● 弘道館や水戸藩に関する年表

\*印は日本や世界のことからです

西 暦	和 暦	こ と が ら
1800	寛政12 <small>かんせい ぶんせい</small>	徳川齊昭が江戸藩邸で生まれる <small>とくがわなりあき え ど はんてい とう</small>
1829	文政12 <small>ぶんせい</small>	齊昭が第9代水戸藩主となる(30歳) <small>さい</small>
1833	天保4 <small>てんぽう</small>	*天保の大飢饉 <small>てんぽう たい き きん</small>
1837	天保8 <small>てんぽう</small>	齊昭が藩政の改革をはじめ <small>はんせい かいかく</small>
1838	天保9 <small>てんぽう</small>	「弘道館記」が発表される <small>こうどうかん き はっぴょう</small>
1840	天保11 <small>てんぽう</small>	弘道館の建設工事がはじめられる <small>こうどうかん けんせつこうじ</small>
		*アヘン戦争がおこる <small>せんぞう</small>
1841	天保12 <small>てんぽう</small>	弘道館が開設される <small>かいせつ</small>
1842	天保13 <small>てんぽう</small>	偕楽園が開園する <small>かいらくえん かいえん</small>
1844	弘化1 <small>こうか</small>	齊昭が藩主をやめさせられる
1853	嘉永6 <small>がえい</small>	齊昭が幕府の海防参与となる <small>ぼく ふ かいぼうさん よ</small>
		*ペリーが浦賀に来る <small>うらが く</small>
1858	安政5 <small>あんせい</small>	*日米修好通商条約が結ばれる <small>にちべいしゅうこうつうしりょうじょうやく むす</small>
1859	安政6 <small>あんせい</small>	安政の大獄。齊昭らが処罰される <small>あんせい たいごく</small>
1860	万延1 <small>まんえん</small>	桜田門外の変。齊昭が水戸城内で死去する(61歳) <small>さくら だもんがい へん み とじょうない しきょ</small>
1866	慶応2 <small>けいおう</small>	*徳川慶喜が第15代将軍となる <small>とくがわしのぶ しょうぐん</small>
1867	慶応3 <small>けいおう</small>	*大政奉還。戊辰戦争がおこる <small>たいせいほうかん ぼ しんせんぞう</small>
1868	明治1 <small>めいじ</small>	徳川慶喜が弘道館の至善堂で謹慎する(4月から7月) <small>しぜんどう きんしん</small>
		弘道館の戦いで文館・武館・医学館などを焼失する <small>ぶんかん ぶかん いがくかん</small>
1871	明治4 <small>めいじ</small>	廃藩置県により水戸藩は廃止。茨城県が誕生する <small>はいはんちけん はいし いばらきけん たんじりょう</small>
1872	明治5 <small>めいじ</small>	弘道館に茨城県庁がおかれる <small>いばらきけんちょう</small>
		学制が發布されて弘道館が閉校になる <small>がくせい はつぷ へいこう</small>
1875	明治8 <small>めいじ</small>	太政官布告により公園に指定される <small>たじょうかん ふこく こうえん してい</small>
1922	大正11 <small>たいしょう</small>	史跡に指定される <small>しせき してい</small>
1945	昭和20 <small>しょうわ</small>	戦災で八卦堂・鹿島神社・孔子廟などを焼失する <small>せんさい はっけどう かしまじんしゃ こうしむよう しょうしつ</small>
1952	昭和27 <small>しょうわ</small>	国の特別史跡に指定される <small>くに とくべつしせき</small>
1964	昭和39 <small>しょうわ</small>	正門・正庁・至善堂が国の重要文化財に指定される <small>せいもん せいちょう しぜんどう じゅうようぶんかざい</small>



弘道館の歴史について知るための写真



げんざい しゃ  
現在のこっている写  
しん ふる  
真では、もっとも古

い写真です。

めいじ たいしやうじだい  
明治から大正時代に  
は、こうどうかん けんちやうしゃ  
弘道館は県庁舎  
がっこう かりこうしゃ  
や学校の仮校舎など  
につかわれました。

明治8年に撮影された  
弘道館の写真

## 記念スタンプ